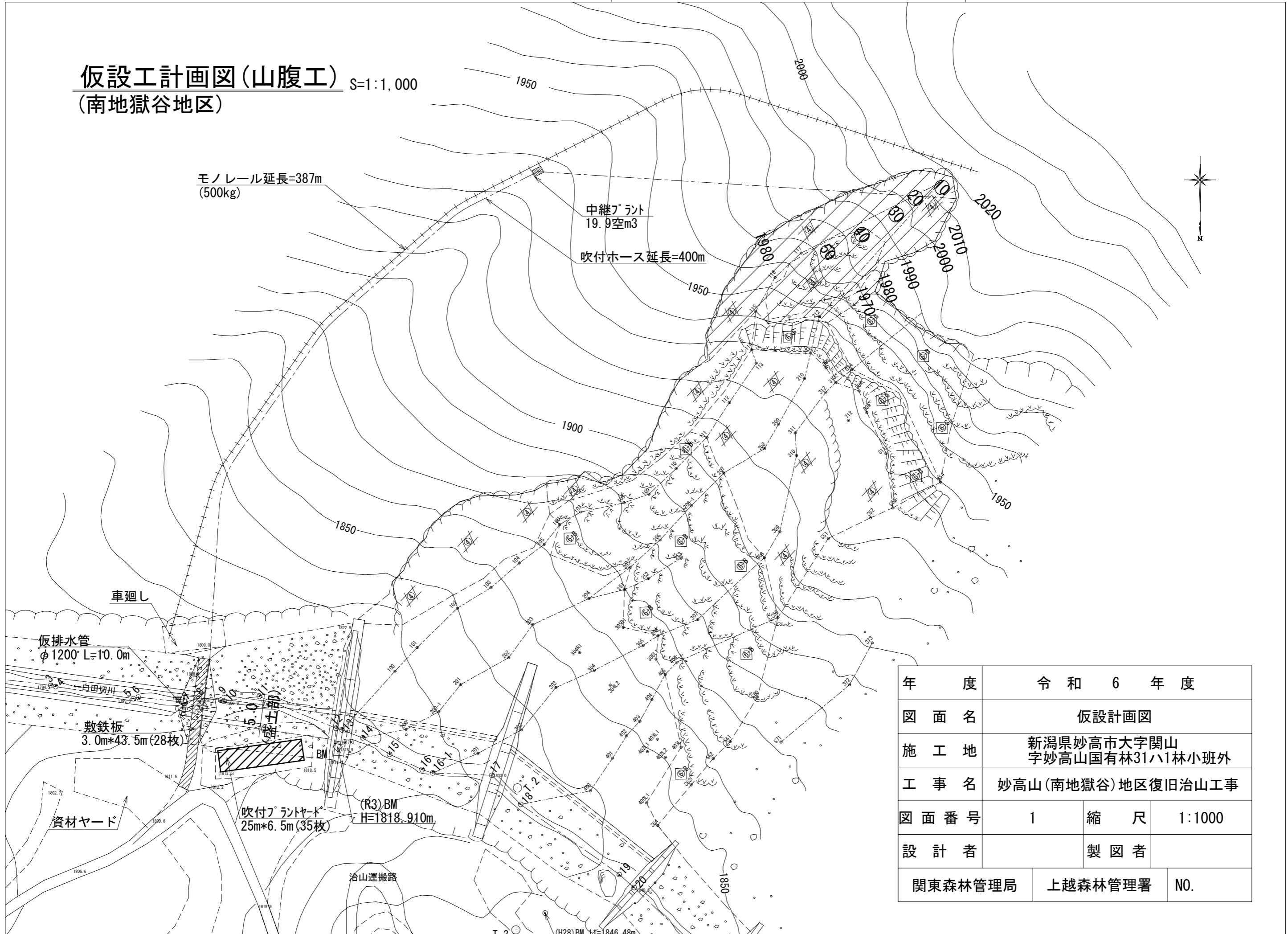
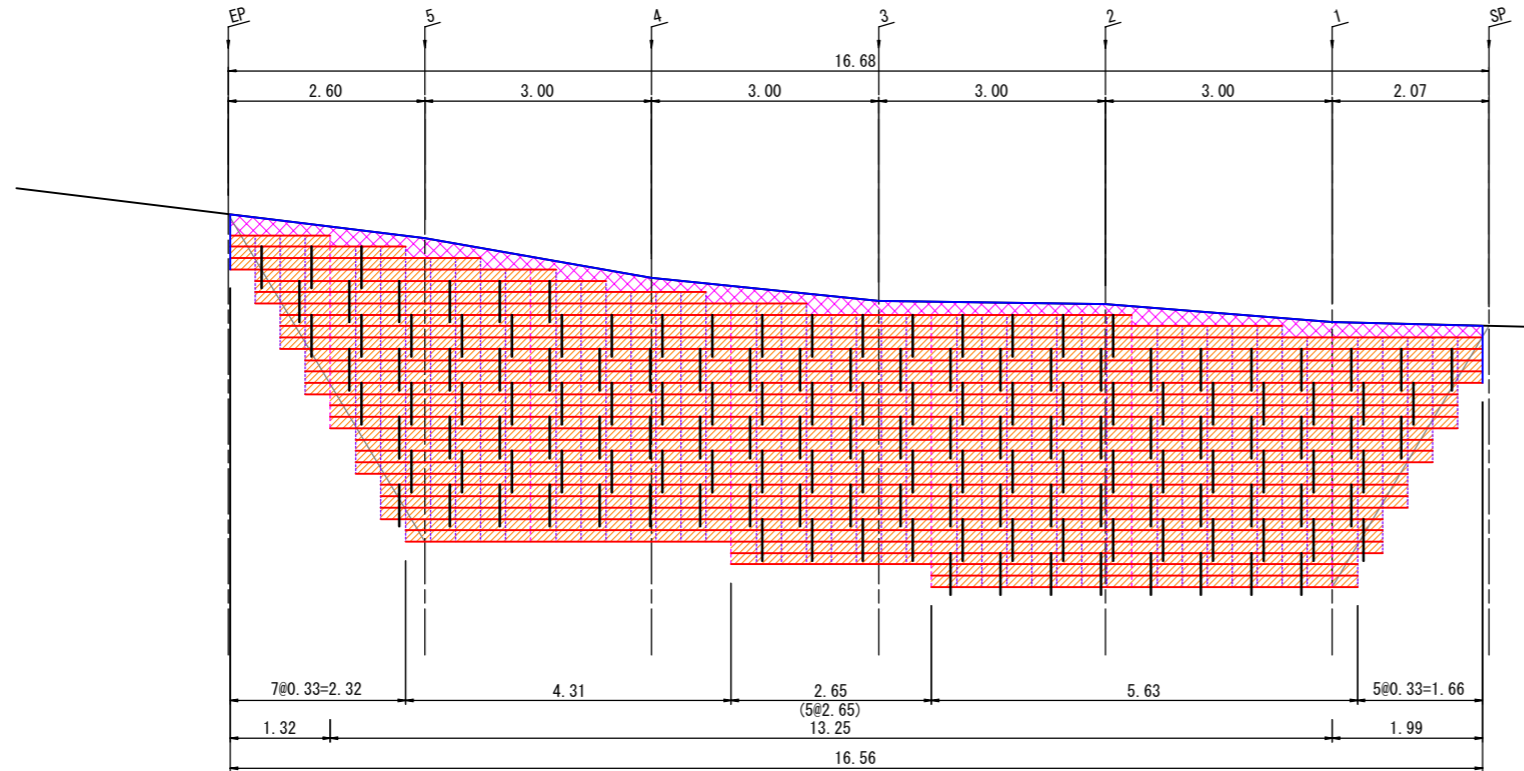


仮設工計画図(山腹工) S=1:1,000
(南地獄谷地区)

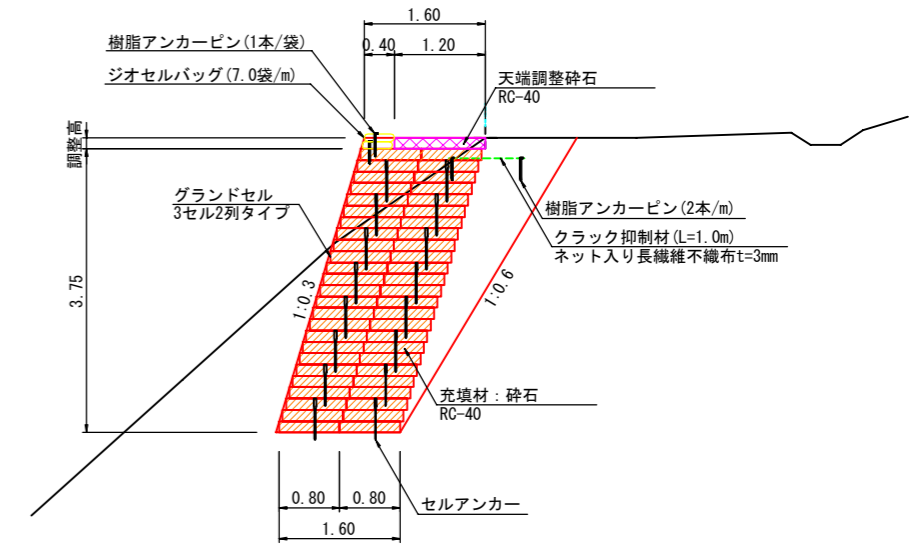


年 度	令和 6 年 度		
図 面 名	仮設計画図		
施 工 地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工 事 名	妙高山(南地獄谷)地区復旧治山工事		
図 面 番 号	1	縮 尺	1:1000
設 計 者	製 図 者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	

正面展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:50

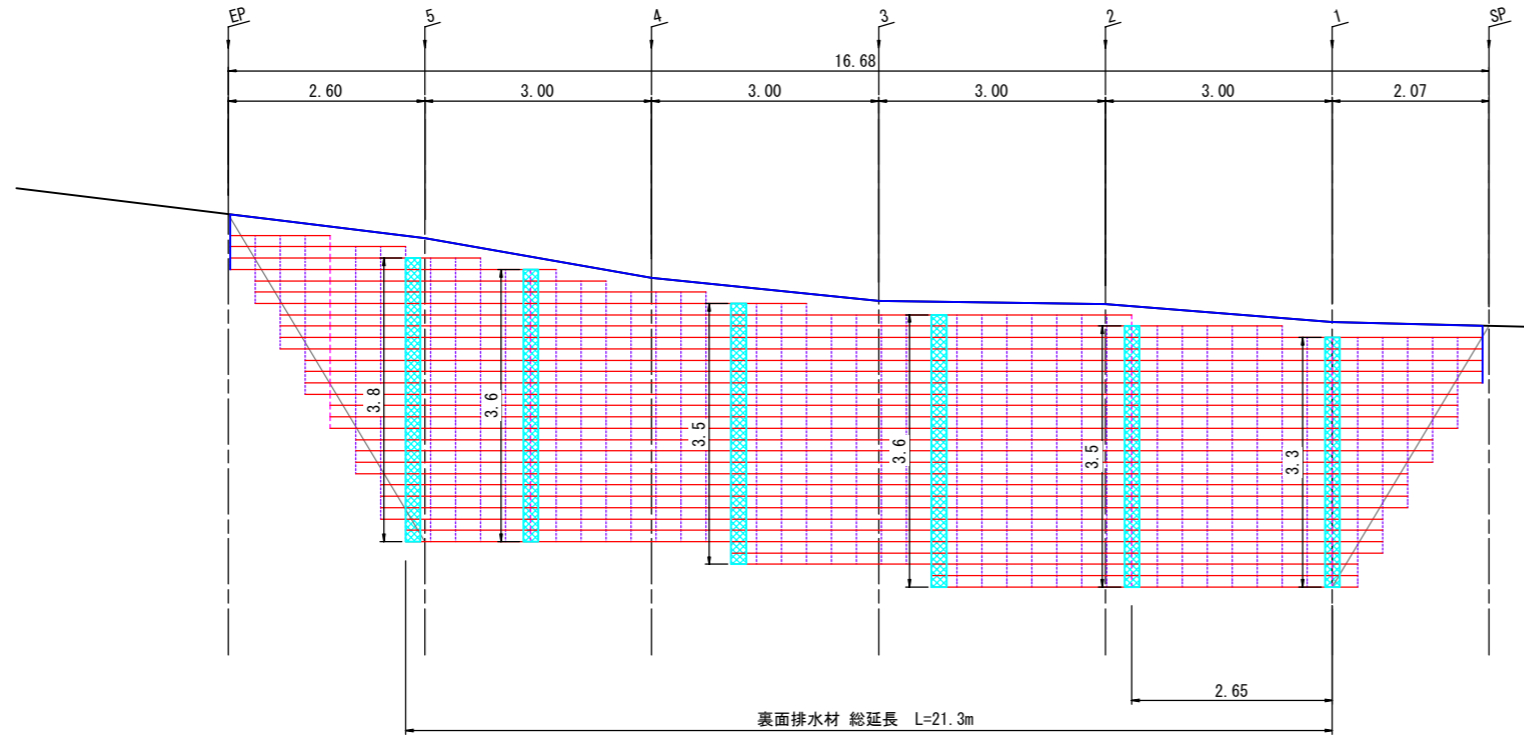


※支持地盤は、調査および試験を行い、構造計算書の支持力を満足すること。

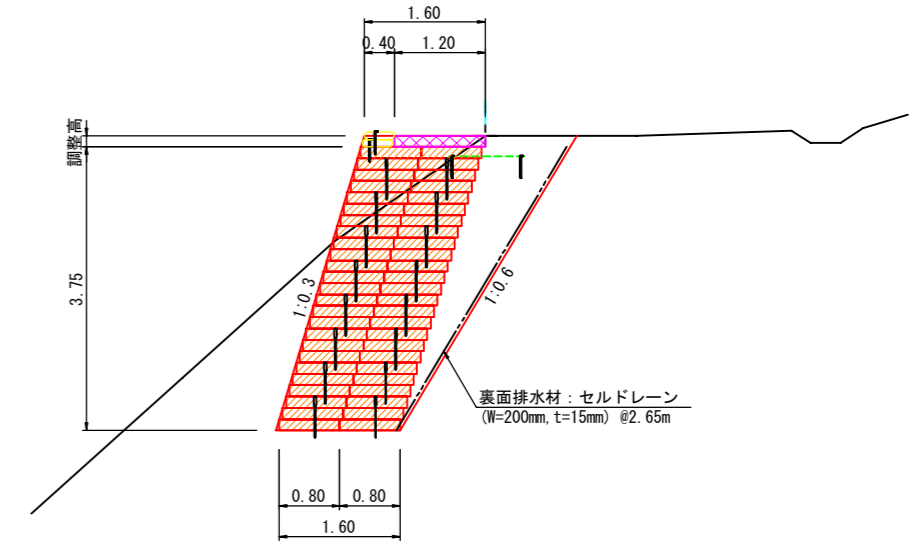
凡例	
形状	種別
	グランドセル
	碎石層
	セルアンカー
	天端調整碎石

年度	令和6年度		
図面名	碎石擁壁工 構造図		
施工地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工事名	妙高山(南地獄谷)復旧治山工事		
図面番号	2	縮尺	図示
設計者	製図者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	

正面展開図 S=1:50



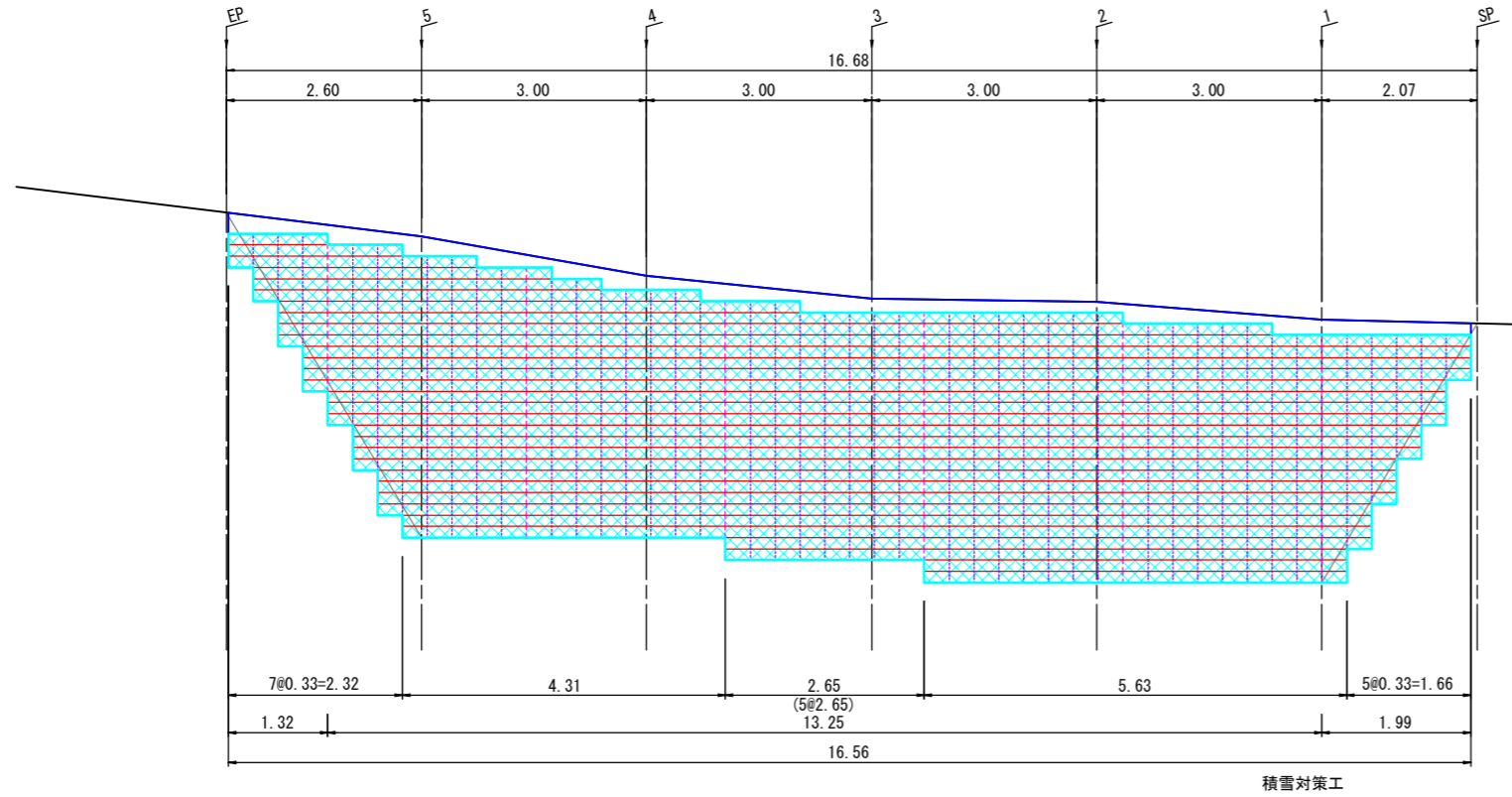
標準断面図 S=1:50



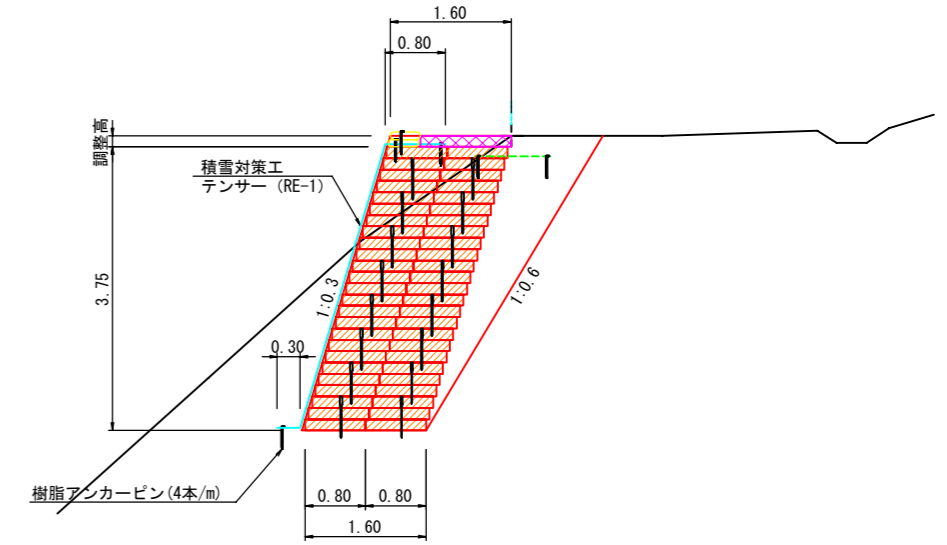
凡例	
形状	種別
	グラウンドセル
	裏面排水材

年 度	令和 6 年 度		
図 面 名	砕石擁壁工 排水計画図		
施 工 地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工 事 名	妙高山(南地獄谷)復旧治山工事		
図 面 番 号	3	縮 尺	図 示
設 計 者	製 図 者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	

正面展開図 S=1:50



標準断面図 S=1:50

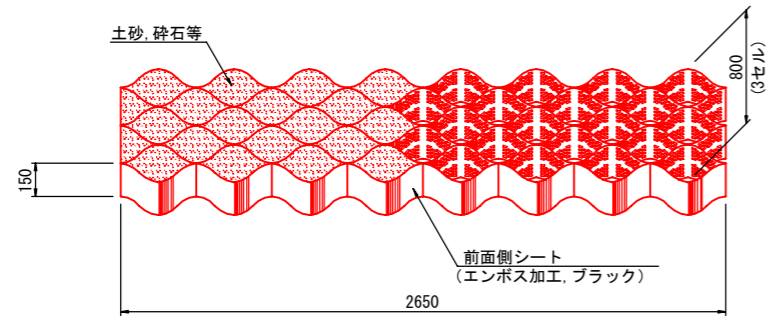


凡例	
形状	種別
	グラウンドセル
	積雪対策工

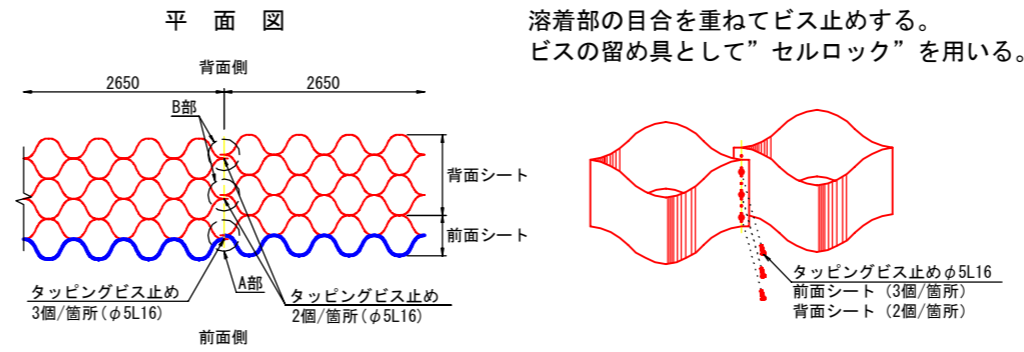
年度	令和6年度		
図面名	碎石擁壁工 積雪対策		
施工地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工事名	妙高山(南地獄谷)復旧治山工事		
図面番号	4	縮尺	図示
設計者	製図者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	

砕石擁壁工詳細図

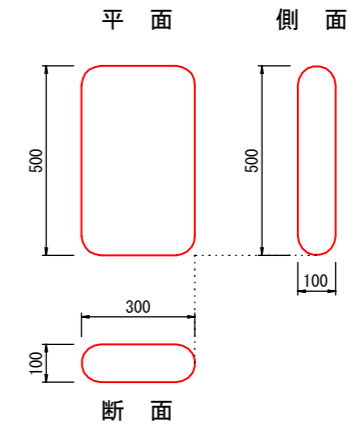
擁壁材形状図



擁壁材相互接合部詳細



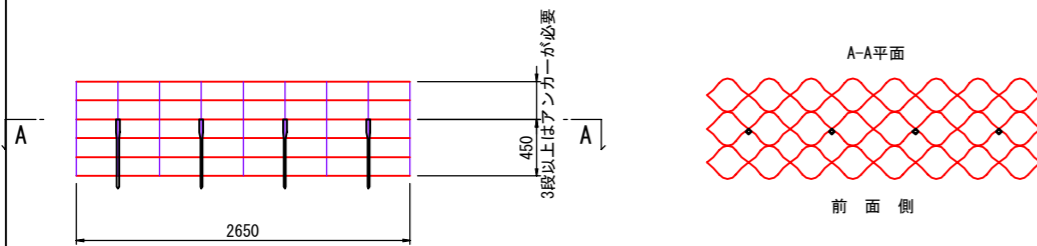
土のう仕上がり寸法



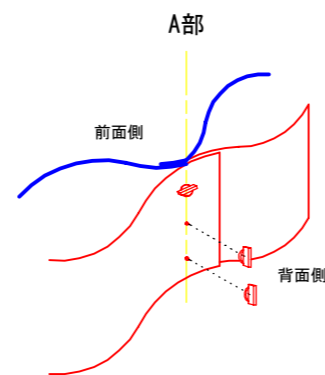
セルアンカー打設詳細図 S=1:30

正面図

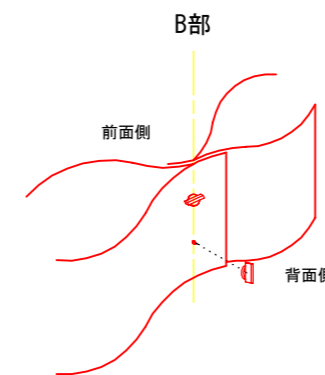
平面図



前面シートセルロック取付図

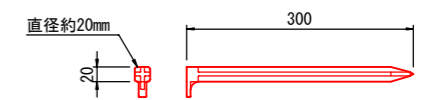


背面シートセルロック取付図



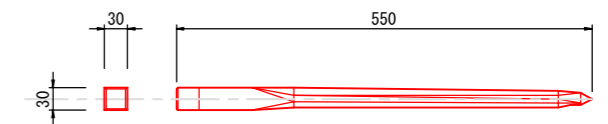
樹脂アンカーピン S=1:5

材質：ポリプロピレン（再生品）



セルアンカー S=1:5

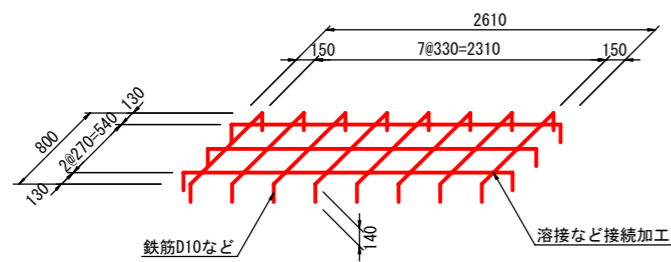
材質：ポリプロピレン（再生品）



擁壁材展開補助枠(参考)

(D10鉄筋を使用した場合)

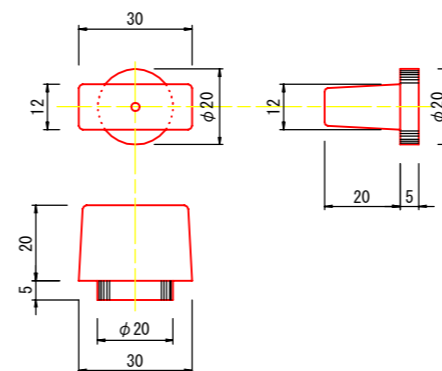
S=1:30



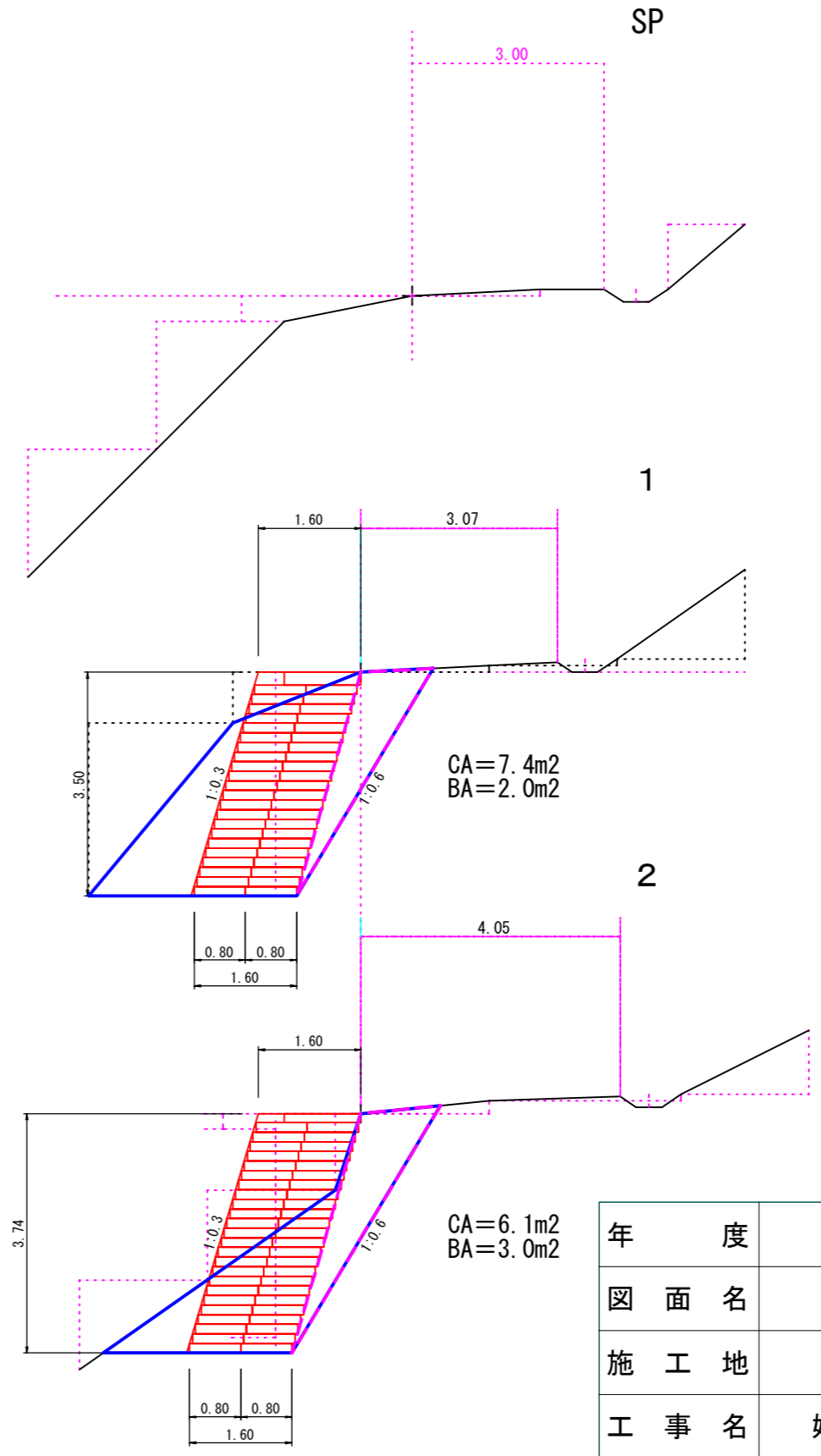
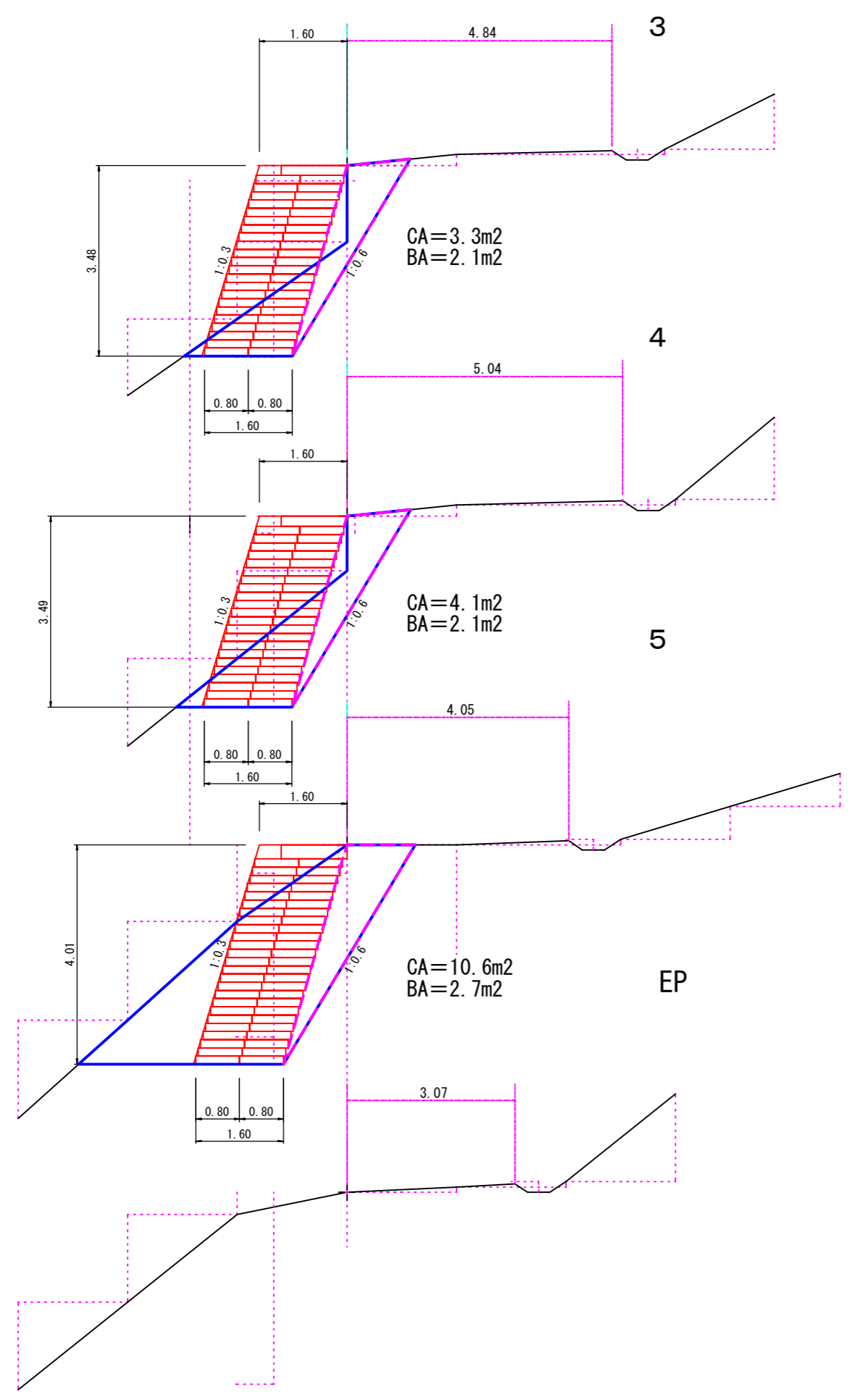
注意) 補助枠は、現地に準備するものとする。

セルロック S=1:1

材質：高密度ポリエチレン



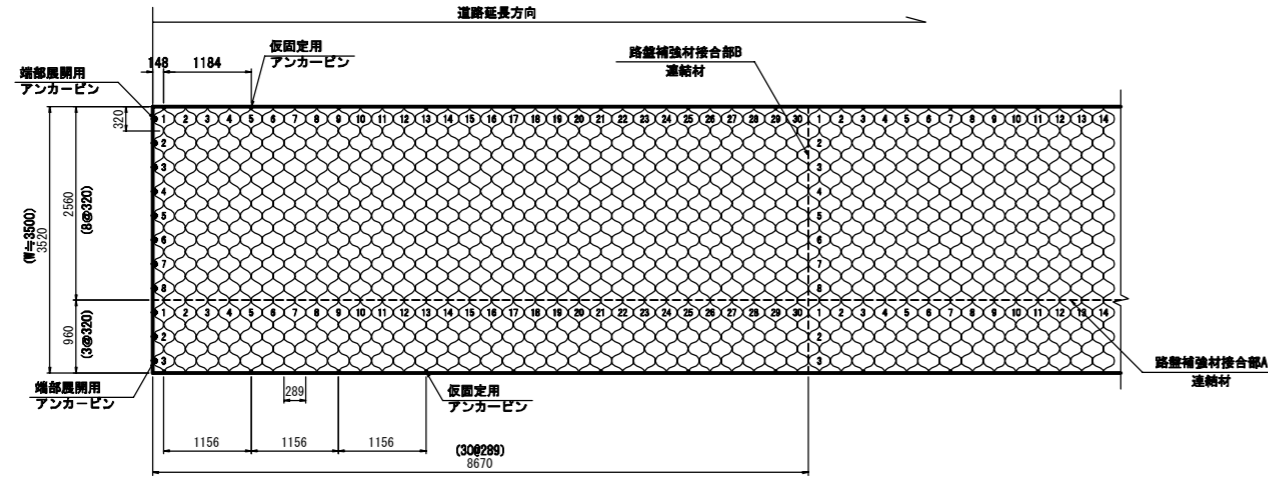
年度	令和6年度		
図面名	擁壁工 部材詳細図		
施工地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工事名	妙高山(南地獄谷)復旧治山工事		
図面番号	5	縮尺	図示
設計者	製図者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	



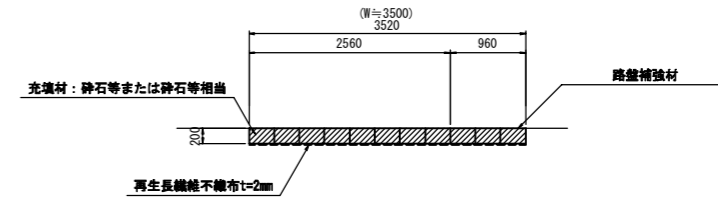
切土 (CA)	— (Blue line)
盛土 (BA)	- - - (Magenta dashed line)

年 度	令和 6 年 度		
図 面 名	擁壁工 断面図		
施 工 地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工 事 名	妙高山(南地獄谷)復旧治山工事		
図 面 番 号	6	縮 尺	1:50
設 計 者	製 図 者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	

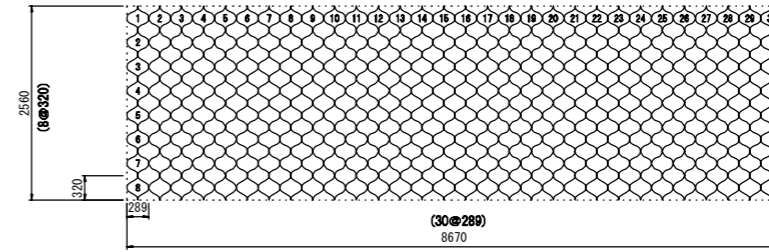
路盤補強材割付図
S=1:50



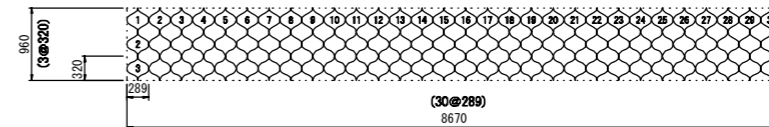
標準断面図
S=1:50



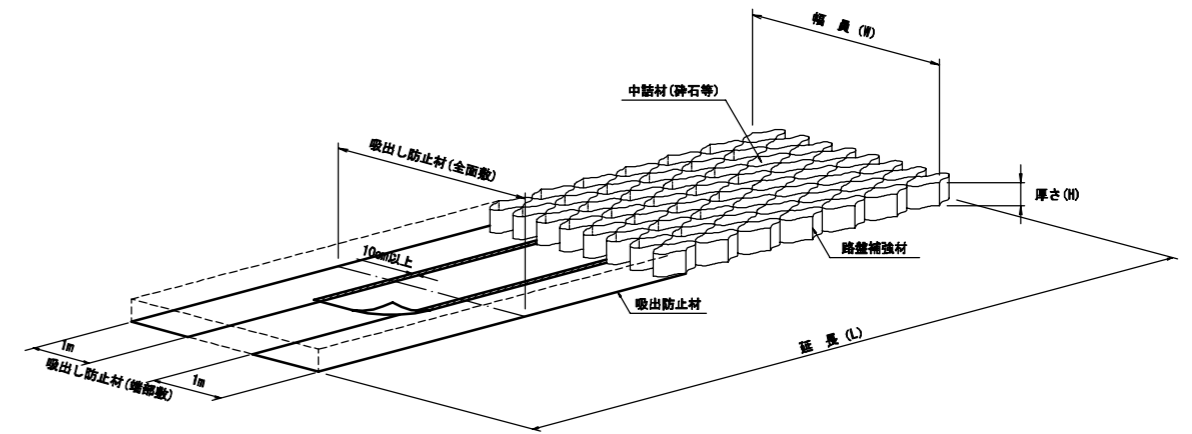
標準展開図
GN-200MP



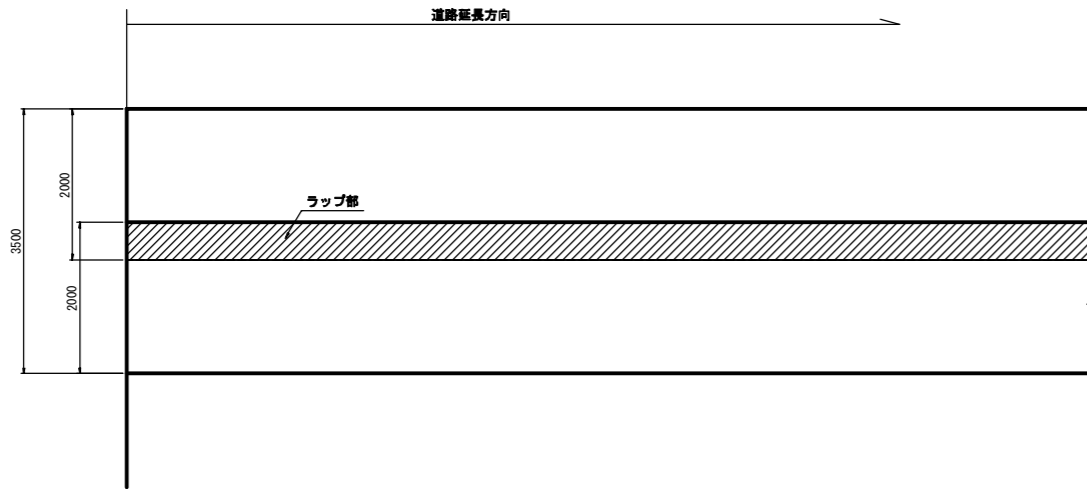
GN-200MP-3



概要図

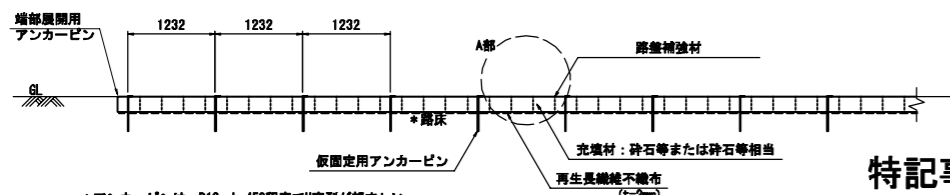


吸出し防止材割付図
S=1:50



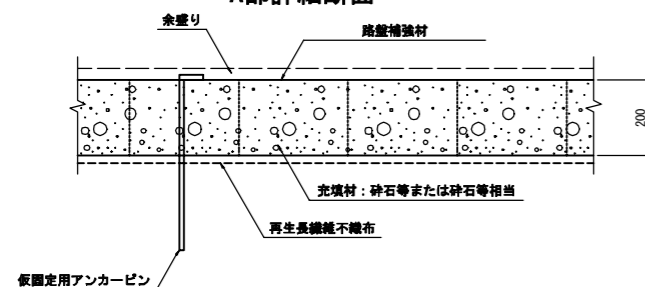
※ラップは、不織布の製品幅2.0mは2.1mあり、1.0m品は1.05mありますので、端数をラップとします。
吸出し防止材は、全面敷設とする。
敷設方向は、材料のロスを目小限にするため、横断方向に敷設する場合もある。
吸出し防止材は、全面敷設と両端部1mずつ敷設パターンとし現地に合わせて適用する。

路盤補強材断面図(延長方向)



*アンカーピンは、D13 L=450程度でU字型が望ましい。
*路床は充分転圧を行って下さい。地耐力が不足する場合は下層路盤を被削下さい。
(路床締め固めが不十分な場合・地耐力が不足する場合はたわみが発生することがあります)

A部詳細断面



余盛りは、路盤補強材が露出しないよう程度を示しており現地に合わせ対応すること。
また、充填材は砕石相当として使用して下さい。

特記事項

1. 砕石舗装工法の仕上げについては、製品が露出しないように適度な余盛を行う。
2. 豪雨、融雪水などにより、路面が洗掘し製品が露出した場合は、中詰材を補充する。
3. 施工基盤上の水位が高く基盤が膿んでいたり、脆弱で水が集中する基盤の場合などは、あらかじめ置換えや排水などの対策を行う。
4. 長繊維不織布の標準敷設は輪荷重が集中する道路幅員の両端部に敷設しているが、施工基盤の状況が悪い場合は、全面敷設などの対応をとる。
5. 中詰材は砕石(C-40またはRC-40)を標準とし、現場状況に応じてARC、グリズリーアンダー材なども使用できる。また、締固め密度管理は路床と同程度とする。
6. 使用する製品は、一軸圧縮試験の載荷応力90kNで製品が破断せず、2cm程度の製品沈下量であることを確認したもの。さらに公共工事において過去に試験施工を実施したものであるものとする。

年 度	令和 6 年 度		
図 面 名	砕石舗装工(路盤補強) 標準図		
施 工 地	新潟県妙高市大字関山 字妙高山国有林31ハ1林小班外		
工 事 名	妙高山(南地獄谷)地区復旧治山工事		
図 面 番 号	7	縮 尺	図 示
設 計 者	製 図 者		
関東森林管理局	上越森林管理署	NO.	